

別表1 「評価基準」

項目		基準	得点配分	
1. 企画内容の評価			40点	
企画内容 の考え方	事業目的 の理解度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の目的を理解し、幅広い層の関心、文化への触れ合いを創出する内容となっているか。</li> <li>・ 仕様書記載の内容を網羅した提案となっているか。</li> </ul>	15	40
	企画内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ イベントは集客が見込め、参加者の興味を引く内容となっているか。</li> <li>・ 効果的な情報発信を行い、より多くの人々が情報を入手できるような工夫がなされているか。</li> <li>・ 他の企画には見られない創造的なものがあるか。</li> </ul>	15	
	内容の 妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実現可能な提案となっているか。</li> <li>・ 県のイベントに相応しい信頼性や品位が感じられる提案となっているか。</li> </ul>	10	
2. 実施体制等の評価			50点	
実施主体	実施主体 の適格性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務遂行に必要な人員・組織を有しており、また効果的な体制がとられているか。</li> <li>・ 連絡調整等の体制・能力は十分か。</li> <li>・ 実現性のある計画的なスケジュールとなっているか。</li> </ul>	20	35
	実施能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幅広い知見や経験、ネットワークを有しているか。</li> </ul>	15	
業務実績	制作等 の実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同種の業務実績を有しているか。また実績は良好か。</li> </ul>	15	15
3. 経費に対する評価			10点	
経費見積	経費の 妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 提案内容と見積額は適切か。</li> <li>・ 仕様書記載の内容はすべて考慮されているか。</li> <li>・ 予算の範囲内での見積りとなっているか。</li> </ul>	10	10
総 計			100点	

※最低基準点は、参加審査員全員分の持ち点を合計した点数の6割とする。